

特定健診・特定保健指導  
交換用基本情報ファイル（実績報告用・閲覧用ファイル交換用）  
仕様説明書

**Version 3.1**

	Version: 3.1
仕様説明書	2020.03.31

## 目次

1.	はじめに	1
1.1	目的	1
1.2	参考資料	1
2.	文書項目	1
3.	XML仕様	2
3.1	交換用基本情報 (indexAnnual)	4
3.2	作成年月日	5
3.3	オブジェクト識別子	5
4.	コード表	6
5.	OID仕様	7
6.	サンプルXML	8
7.	XMLスキーマ	9

	Version: 3.1
仕様説明書	2020.03.31

## 修正履歴

2020.03.31 V3.1 より以後の修正履歴

日付	版	修正内容
2020年3月31日	3.1	<p>1.1目的 オンライン資格確認等システムを活用した特定健診情報等の保険者間引継ぎ実施に伴い、本文書をこれまでの保険者から支払基金への実績報告用に加えて閲覧用ファイルの交換（保険者から支払基金、支払基金から保険者の両方向を対象）にも適用する旨を記載</p> <p>■XML仕様上に関する修正 &lt;閲覧用ファイル追加に伴う修正&gt;  <ul style="list-style-type: none"> <li>- 文書名の変更 および他文書名変更に伴う参照の変更</li> </ul> 2. 文書項目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・表1項目一覧の種別、送付元機関、送付先機関、実施区分の記載内容を変更</li> </ul> 3.1交換用基本情報(indexAnnual) <ul style="list-style-type: none"> <li>・種別コードおよび機関番号の格納内容説明変更（表3についても同様）</li> </ul> 4. コード表 <ul style="list-style-type: none"> <li>・表6 種別コード（12:変更、14~20:予備追加）</li> <li>・表7 実施区分コード（3:「匿名化済」を明記、5:新規追加、6~9:予備追加）</li> </ul> 6. サンプルXML <ul style="list-style-type: none"> <li>・サンプル1として保険者から支払基金への実績報告XMLを変更記載</li> <li>・サンプル2として閲覧用ファイルの交換用XMLを新規追加記載</li> </ul> &lt;総ファイル数の拡大に伴う修正&gt; 3.1 交換用基本情報(index) <ul style="list-style-type: none"> <li>・表3 交換用基本情報XML仕様の6.2に記録できる整数桁数を6桁から8桁に変更</li> </ul> </p> <p>■XML仕様上に関係のない修正  <ul style="list-style-type: none"> <li>・バージョンを「3」から「3.1」に修正</li> </ul> </p>

	Version: 3.1
仕様説明書	2020.03.31

# 交換用基本情報ファイル（実績報告用・閲覧用ファイル交換用） 仕様説明書

## 1. はじめに

### 1.1 目的

本文書の目的は、「保険者が社会保険診療報酬支払基金に提出する特定健康診査等の実施状況に関する結果について」（平成20年7月10日厚生労働省保険局長通知）において提示されている「特定健診・特定保健指導情報の交換用基本情報ファイル」について、実績報告（または閲覧）用データの電子的な記述仕様を説明するものである。また技術仕様上の位置づけとしては、交換用基本情報ファイル（支払基金との交換用）のXML(eXtensible Markup Language)による電子的標準様式を定義するものであり、別途公表されている同XMLスキーマを説明および補完するものである。なお、健診機関・保健指導機関が保険者や代行機関に健診・保健指導結果データを提出する際に使用する「特定健診・特定保健指導 交換用基本情報ファイル仕様説明書」（以下、保険者用交換用基本情報ファイル仕様）相違点は太字下線で示す。

### 1.2 参考資料

下記は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

- [1] 厚生労働省、「標準的な健診・保健指導プログラム（改定版）」
  - [2] 厚生労働省、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」
  - [3] HL7 Inc, HL7 Version 3 Normative Edition 2006, <http://www.hl7.org/>.
  - [4] XML Schema Part 2: Datatypes, W3C Recommendation, <http://www.w3.org/TR/xmlschema-2/>.
  - [5] 財団法人地方自治情報センター, 全国地方公共団体コード, <https://www.j-lis.go.jp/spd/code-address/jititai-code.html>
- ※[1]、[2]については、厚生労働省 HP 「特定健診・特定保健指導について」（<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>）に公表されている最新版を参照すること。

## 2. 文書項目

特定健診情報、特定保健指導情報の交換用基本情報ファイルの項目を表1に示す。

表1 交換用基本情報ファイル項目一覧

No	ファイルの記録内容	フィールド名称	記録内容
1	特定健診/特定保健指導交換用情報	種別	「表6 種別コード」にそって以下のコードを記録する。 保険者からの実施結果報告:「10」を記録 閲覧用:「12」を記録
2		送付元機関	送付元の機関番号を記録(保険者または支払基金)
3		送付先機関	送付先の機関番号を記録(保険者または支払基金)
4		作成年月日	ファイルの作成年月日(西暦)を記録
5		実施区分	保険者から国(支払基金)への実施結果報告の場合:「5」を記録 支払基金から国、もしくは国保から支払基金への実施結果報告の場合:「3」を記録 閲覧用の場合:「1」を記録
6		総ファイル数	特定健診・特定保健指導情報ファイル数を作成した総ファイル数を記録。
7		このアーカイブのファイル数	アーカイブしたファイル内にある特定健診・特定保健指導情報ファイル数を記録
8		総アーカイブ数	アーカイブした総ファイル数を記録
9		アーカイブ番号	このアーカイブファイルの番号を記録

	Version: 3.1
仕様説明書	2020.03.31

### 3. XML 仕様

XML 設計における基本方針として、できる限り単純な XML とするが、日付や識別子などのデータ型のモデルは、HL7 CDA R2 形式で記述される特定健診情報/特定保健指導情報ファイルとの整合性を考慮した。また、内容の妥当性の確認のために属性値と内容モデルとの共起制約のチェックが必要になるといった、XML スキーマだけでは単純に記述できないような制約は可能な限り用いないことを方針とした。

本書では、XML 仕様を表 2 に示す表形式で記述する。

「要素名」で示される行は、その表に示される XML 要素名である。この要素の子要素または属性を表中の各行に示す。このとき、灰色に網掛けした行は XML 要素を表し、網掛けされていない行は、属性またはテキスト内容を表す。

「要素/属性」列は、各行が示す項目が XML 要素の場合要素名を、属性の場合は属性名を表す。属性名の前には「@」を付与する。テキスト内容の場合は「テキスト内容」を示す。

「型」列は、「要素」「属性」「テキスト」の 3 種類の値をとり、それぞれ、その行が表す内容が、XML 要素、属性、テキスト内容であることを示す。

多重度は、指定された要素または属性の出現数の最小値と最大値とを「..」の両端に示す形で表現する。最大値に制限がない場合は「\*」（アスタリスク）で示す。例えば、下表 2 の場合、interactionType 要素は、XML 中に 0 または 1 つのみ出現し、sender 要素は、1 つ以上複数個出現することを意味する。なお、多重度は、その項目の上位の項目が出現する場合の多重度となる。例えば下の例では、interactionType 要素の多重度が「0..1」で、その下位項目である code 属性の多重度が「1..1」であるということは、上位項目である interactionType 要素自体は省略することが可能であるが、interactionType 要素が出現する場合には、その下位項目である code 属性も必ず出現することを意味している。XML 仕様中では、最小多重度が 1 である項目は赤字で示す。

表 2 本書における XML 仕様の表記例

要素名		index		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
1.1	interactionType	要素	0..1	種別
1.1.1	@code	属性	1..1	表 2 のコード値
1.2	sender	要素	1..*	送付元機関
1.2.1	id	要素	1..1	送付元機関番号（以下のいずれかを値にとる） 特定健診機関番号・特定保健指導機関番号：半角数字 10 桁 代行機関番号：半角数字 8 桁 保険者番号：半角数字 8 桁以内
1.2.1.1	@root	属性	1..1	機関番号を識別するオブジェクト識別子
1.2.1.2	@extension	属性	1..1	機関番号文字列

本書で定義する XML スキーマ(aix08\_V08.xsd)の構造を図 1 に示す。

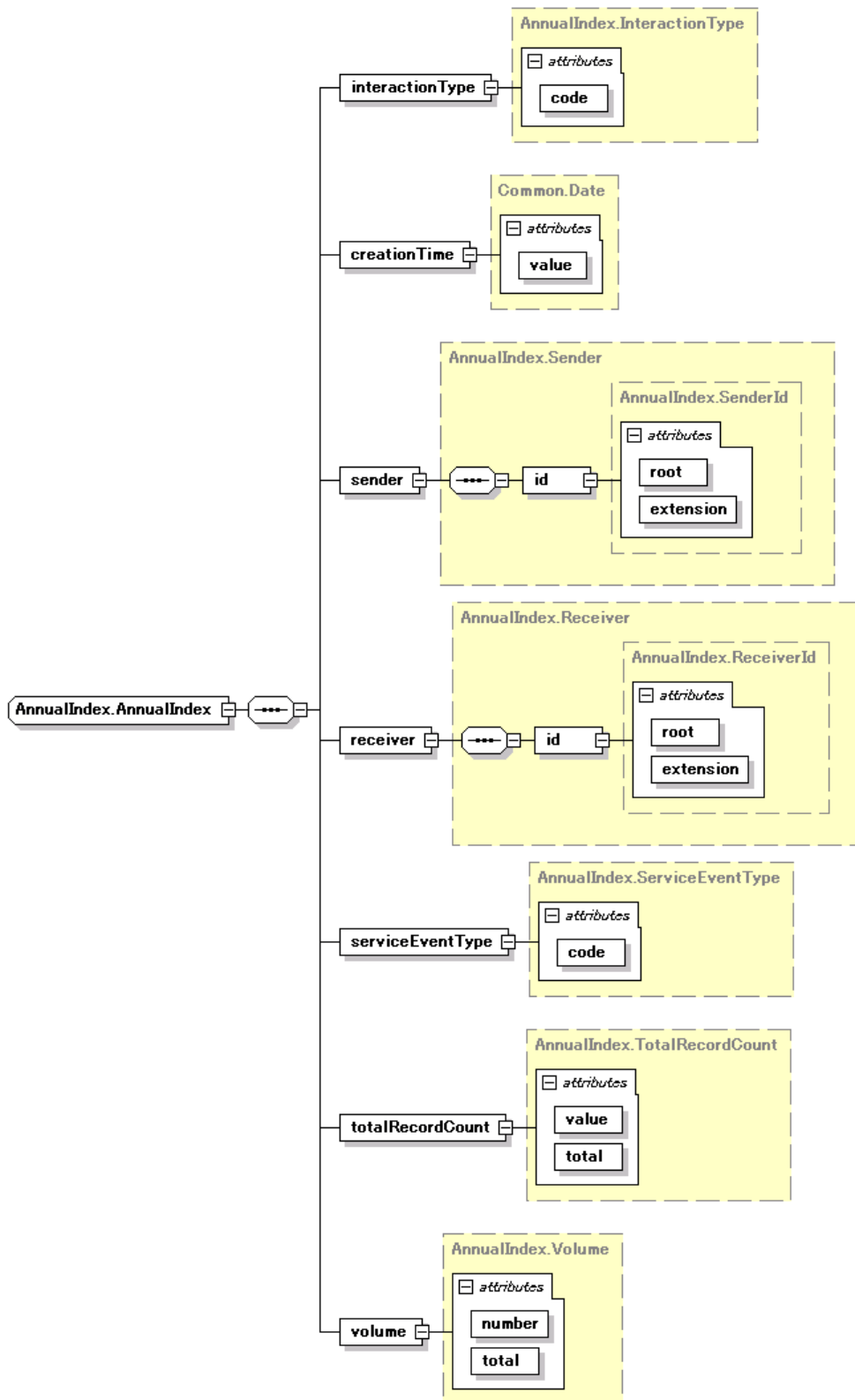


図 1 XML スキーマの構造

	Version: 3.1
仕様説明書	2020.03.31

### 3.1 交換用基本情報 (indexAnnual)

特定健診情報／特定保健指導情報交換用基本情報ファイルのルート要素。種別コードおよび機関番号には、交換対象とする内容により以下の通り格納する。

1) 実績報告時（保険者→支払基金、支払基金→国）

種別コード「**10**:保険者から国（支払基金）（匿名化前・匿名化済）」を指定する。送付元機関番号には保険者番号を**8**桁で格納し、送付先機関には、社会保険診療報酬支払基金の番号である「**94899010**」を格納する。

2) 閲覧用データの交換時（保険者→支払基金、支払基金→保険者）

種別コード「**12**:閲覧用」を指定する。送付元または送付先の機関番号には、保険者の場合は保険者番号**8**桁で格納し、社会保険診療報酬支払基金の場合は「**94899010**」を格納する。

保険者用交換用基本情報ファイルとは異なり、実績報告および閲覧用の交換用基本情報ファイルは、アーカイブファイルを複数に分割して提出する場合に、提出用アーカイブファイルの総数を指定するとともに、分割識別番号を**1**から**99**の間で指定する。提出用アーカイブファイルを分割せずに**1**ファイルとして提出する場合には、分割識別番号、分割総数共に「**1**」を指定する。詳細は、別紙「提出用データアーカイブ仕様」を参照のこと。

表 3 交換用基本情報 XML 仕様

型名		index			
No	要素 / 属性	型	多重度	説明	
1	interactionType	要素	1..1	種別	
1.1	@code	属性	1..1	種別コード（表 6） ・実績報告時は「10:保険者から国（支払基金）（匿名化前・匿名化済）」 ・閲覧用データの交換時は「12:閲覧用」を設定。	
2	creationTime	要素	1..1	（提出用ファイルの）作成年月日	
2.1	@value	属性	1..1	書式: YYYYMMDD (3.2 節参照)	
3	sender	要素	1..1	送付元機関	
3.1	id	要素	1..1	送付元機関番号。 保険者の場合：保険者番号：半角数字 8 桁（8 桁に満たない場合は先頭をゼロ埋めする） 支払基金の場合：「94899010」 オンライン資格確認等システムから閲覧用ファイルをダウンロードする際には、オンライン資格確認等システムからの受信の旨を示すため、便宜上、社会保険診療報酬支払基金：「94899010」を記録する。	
3.1.1	@root	属性	1..1	送付元機関番号を識別するオブジェクト識別子（3.3 節及び表 5 参照） 保険者の場合：保険者番号を識別する OID： 「1.2.392.200119.6.101」。 支払基金の場合：代行機関番号を識別する OID： 「1.2.392.200119.6.103」。	
3.1.2	@extension	属性	1..1	送付元機関番号文字列。8 桁に満たない場合は先頭をゼロ埋めし 8 桁固定とする。	
4	receiver	要素	1..1	送付先機関	
4.1	id	要素	1..1	送付先機関番号。 前述 No3.1 の送信元設定説明と同一。ただし、 オンライン資格確認等システムに閲覧用ファイルをアップロードする際には、オンライン資格確認等システムへの送信の旨を示すため、便宜上、社会保険診療報酬支払基金：「94899010」を記録する。	
4.1.1	@root	属性	1..1	送付先機関番号を識別するオブジェクト識別子（3.3 節及び表 5 参照）	

	Version: 3.1
仕様説明書	2020.03.31

				(前述 No3.1.1 の送信元設定説明と同一)
4.1.2	@extension	属性	1..1	送付先機関番号文字列。
5	serviceEventType	要素	1..1	実施区分
5.1	@code	属性	1..1	実施区分 (表 7) 保険者から支払基金への実施結果報告の場合:「5」を記録 支払基金から国、もしくは国保から支払基金への実施結果報告の場合:「3」を記録 閲覧用の場合:「1」を記録
6	totalRecordCount	要素	1..1	総ファイル数。
6.1	@value	属性	1..1	このアーカイブファイルに含まれる総ファイル数を記録する。総ファイル数とは、このアーカイブファイルに含まれる、CHECKUP フォルダ、及び、GUIDANCE フォルダ内のファイルの合計数で、この2つのフォルダ外のファイル数は含めない。
6.2	@total	属性	1..1	提出する (複数の) アーカイブファイル全体における、上記総ファイル数の合計数を記録する。整数 8 桁以内。
7	volume	要素	1..1	アーカイブ数。
7.1	@number	属性	1..1	このアーカイブファイル名につける分割識別番号。1 から 99 までの数字を格納。分割しない場合は「1」を指定。
7.2	@total	属性	1..1	総アーカイブファイル数 (=分割アーカイブ総数)。分割しない場合は「1」を指定。1 から 99 までの数字を格納。

### 3.2 作成年月日

作成年月日を表現する日付型は、XML スキーマでは以下に示す正規表現で表現される文字列型として定義される。そのため、2月30日や9月31日といった、本来正しくない日付であっても妥当と判断されることに注意する。

表 4 作成年月日 XML 仕様

型名	date	
base	型	説明
xs:string	xs:pattern	正規表現 : (([1-9][0-9][0-9][0-9])((0[1-9]) (1[0-2]))((0[2][0-9]) (3[01])))

### 3.3 オブジェクト識別子

オブジェクト識別子情報(OID: Object Identifier)を表す oid 型は、以下の単純型で規定される。本仕様で使用する OID の一覧は、5 節 表 8 に示す。

表 5 オブジェクト識別子 XML 仕様

型名	oid	
base	型	説明
xs:string	xs:pattern	正規表現 : [0-2](¥.(0 [1-9][0-9]*))*



	Version: 3.1
仕様説明書	2020.03.31

#### 4. コード表

本 XML で使用するコード表を以下に示す。

表 6 種別コード  
網掛けは本仕様では使用しない。

コード名	コード	内容	備考
種別コード	1	特定健診機関又は特定保健指導機関から代行機関	請求
	2	代行機関から特定健診機関又は特定保健指導機関	返戻
	3	代行機関から保険者	請求
	4	保険者から代行機関（未決済データの場合）	返戻請求
	5	保険者から代行機関（決済済データの場合）	過誤請求
	6	特定健診機関又は特定保健指導機関から保険者	代行機関を介しない場合
	7	保険者から特定健診機関又は特定保健指導機関	
	8	保険者から保険者	
	9	その他	
	10	保険者から国（支払基金）（匿名化前・匿名化済）	実施結果報告
	11	代行機関から保険者へ確認依頼	確認依頼
	12	閲覧用	
	13	予備	
	14	予備	
	15	予備	
	16	予備	
	17	予備	
	18	予備	
	19	予備	
	20	予備	

表 7 実施区分コード  
網掛けは本仕様では使用しない。

コード名	コード	内容	備考
実施区分コード	1	特定健診情報	
	2	特定保健指導情報	使用しない
	3	国（支払基金）への実施結果報告（匿名化済）	
	4	他の健診結果の受領分	
	5	国（支払基金）への実績結果報告（匿名化前）	
	6	予備	
	7	予備	
	8	予備	
	9	予備	

	Version: 3.1
仕様説明書	2020.03.31

## 5. OID 仕様

本 XML で使用する OID の一覧を示す。

表 8 OID 一覧

OID	説明	備考
1. 2. 392. 200119. 6. 101	保険者番号	送付元機関の機関番号の OID として指定
1. 2. 392. 200119. 6. 103	代行機関番号	送付先機関の機関番号の OID として指定

	Version: 3.1
仕様説明書	2020.03.31

## 6. サンプル XML

特定健診情報／特定保健指導情報交換用基本情報ファイルの XML の例を以下に示す。

(サンプル 1) 保険者から国（支払基金）への実績報告時

表 9 サンプル XML 内容

項目名称	値
種別	10（保険者から国（支払基金）（匿名化前・匿名化済））
作成年月日	令和 3 年 11 月 1 日
送付元機関	保険者番号 123456
実施区分	5（国への実施結果報告(匿名化前)）
総ファイル数	10000
アーカイブ分割識別番号	1
アーカイブファイル総数	1

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<annualIndex xmlns="http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007 ./XSD/aix08_V08.xsd">
  <!-- 種別（保険者から国への実施結果報告：10） -->
  <interactionType code="10"/>
  <!-- 作成年月日（2021年11月1日） -->
  <creationTime value="20211101"/>
  <!-- 送付元機関（保険者番号：123456の場合） -->
  <sender>
    <id root="1.2.392.200119.6.101" extension="00123456"/>
  </sender>
  <!-- 送付先機関（社会保険診療報酬支払基金：94899010） -->
  <receiver>
    <id root="1.2.392.200119.6.103" extension="94899010" />
  </receiver>
  <!-- 実施区分（「5：国への実施結果報告(匿名化前)」の場合） -->
  <serviceEventType code="5"/>
  <!-- 総ファイル数（「10000」の場合） -->
  <totalRecordCount total="10000" value="10000" />
  <!-- アーカイブ分割識別番号：1、アーカイブファイル総数：1の場合 -->
  <volume number="1" total="1" />
</annualIndex>
```

	Version: 3.1
仕様説明書	2020.03.31

(サンプル2) 閲覧用ファイルの交換時 (支払基金→保険者)

表 10 サンプル XML 内容

項目名称	値
種別	12 (閲覧用)
作成年月日	令和3年11月1日
送付先機関	保険者番号 123456
実施区分	1 特定健診情報
総ファイル数	1000
アーカイブ分割識別番号	1
アーカイブファイル総数	1

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<annualIndex xmlns="http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007 ./XSD/aix08_V08.xsd">
  <!-- 種別 (閲覧用 : 12) -->
  <interactionType code="12"/>
  <!-- 作成年月日 (2021年11月1日) -->
  <creationTime value="20211101"/>
  <!-- 送付元機関 (社会保険診療報酬支払基金 : 94899010) -->
  <sender>
    <id root="1.2.392.200119.6.103" extension="94899010" />
  </sender>
  <!-- 送付先機関 (保険者番号 : 123456の場合) -->
  <receiver>
    <id root="1.2.392.200119.6.101" extension="00123456" />
  </receiver>
  <!-- 実施区分 (「1 : 特定健診情報」の場合) -->
  <serviceEventType code="1"/>
  <!-- 総ファイル数 (「1000」の場合) -->
  <totalRecordCount total="1000" value="1000" />
  <!-- アーカイブ分割識別番号 : 1、アーカイブファイル総数 : 1 の場合 -->
  <volume number="1" total="1" />
</annualIndex>
```

## 7. XML スキーマ

特定健診情報/特定保健指導情報交換用基本情報ファイルの XML スキーマファイルは、厚労省ホームページに掲載されている。

	Version: 3.1
仕様説明書	2020.03.31

本説明文書は、H18年度厚生労働科学研究費補助金・循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業（生活習慣病）：疾病予防サービスの制度に関する研究班の分担研究班「健診データの整備に関する検討(分担研究者：大江和彦)」により作成されました。

また、本説明文書が対象としている特定健診データの標準的電子データ規格は、上記の厚生労働科学研究班のメンバーのほか、下記の厚生労働省「標準的な健診・保健指導の在り方に関する検討会/健診分科会/電子的管理WG（座長：大江和彦）」、保健医療福祉情報システム工業会、日本HL7協会有志、およびここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

#### 標準的な健診・保健指導の在り方に関する検討会/健診分科会/電子的管理WG

大江和彦 東京大学大学院医学系研究科  
 奥 真也 東京大学医学部  
 窪寺 健 (株)NTTデータ  
 小林祐一 HOYA グループ総括産業医  
 酒巻哲夫 群馬大学医学部  
 松田晋哉 産業医科大学  
 吉田勝美 聖マリアンナ医科大学  
 渡辺清明 国際医療福祉大学

#### 保健医療情報システム工業会・HL7協会

大島 義光 (株)日立製作所  
 大林 正晴 (株)管理工学研究所  
 香川 正幸 富士通(株)  
 小西 由貴範 (株)ケーアイエス  
 田中 教子 (株)ケーアイエス  
 平井 正明 日本光電工業(株)  
 橋本 大輔 (株)テクノロジックアート  
 村上 英 東芝住電医療情報システムズ(株)

#### その他大学関係等

新田見 有紀 東京大学医学部附属病院  
 星本 弘之 東京大学医学部附属病院  
 山本 隆一 東京大学大学院情報学環

	Version: 3.1
仕様説明書	2020.03.31

### Ver3

本説明文書は、厚生労働省保険局医療介護連携政策課データヘルス・医療費適正化対策推進室により修正されました。また、「保険者による健診・保健指導等に関する検討会」の下に設置された「実務担当者による特定健診・特定保健指導に関するワーキンググループ」の作業班メンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

実務担当者による特定健診・特定保健指導に関するワーキンググループ作業班

### Ver3.1

本説明文書は、オンライン資格確認等システムを活用した特定健診情報等の保険者間の引継ぎ等の開始（2021年3月予定）に対応するため、厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室が修正を行いました。

また、「保険者による健診・保健指導等に関する検討会」の下に設置された「実務担当者による特定健診・特定保健指導に関するワーキンググループ」の構成員や、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

なお、本文中に記載している通知の最新版については厚生労働省ホームページ

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html> に掲載しておりますので、適宜読み替えて運用していただくようお願いいたします。